



“命と財産を守るために”

○ 桜地区の諸団体の皆様等には、11月30日(土)「桜地区防災フェスタ」の前日並びに当日のスタッフ業務等にご協力・ご支援を賜り且つ、当日の体験等に参加頂き厚くお礼申し上げます。

我が桜地区は高齢化率が高く、万が一平日の昼間に災害が発生すると人手の確保が厳しい状況の中、災害対応が困難な状態となります。 そのためには毎年、ひとり一人が自身の命と財産を守り被害を最小限にするために何を講じておくべきかを考える機会を防災フェスタとして開催しております。 今一度、過去の震災時に老若男女問わず多くの人々がどのように対応していたのか又、小学生や中学生が目覚ましい行動が多くの人々をつき動かし、生命の尊さと感動を頂きました。

子供たちの素晴らしい行動とボランティア元年の教訓を活用するために、皆様のご支援と協力を頂きながら、毎年学校と協賛して防災フェスタの行事を企画立案しております。 防災は誰のためでもなく自身のために必要な体験です。

○ 12月14日(土)13:30～15:00の間、第2回「ペットを守ろう! 防災対策」の講演会を開催いたしました。 20数名の方の参加を頂き、有難うございました。裏面に「災害発生時に飼い主が行うべき行動」(環境省「人とペットの災害対策ガイドライン」より)を記載しています。

回 覧								

防災ニュース「きらら」は単独で回覧をお願いします。

# 災害発生時に 飼い主が行うべき行動

## 1

### ペットとの同行避難

同行避難する際の準備例

#### 犬の場合

- リードを付け、首輪が緩んでいないか、鑑札、狂犬病予防注射済票を装着しているかを確認
- 小型犬はリードをつけた上で、キャリーバッグやケージに入れる
- 避難用品を持って指定緊急避難場所へ向かう

#### 猫の場合

- キャリーバッグやケージに入れる
- キャリーバッグなどの扉が閉いて猫が逃走しないようにガムテープなどで固定するとよい
- 避難用品を持って指定緊急避難場所へ向かう

## 2

### 避難中のペットの 飼養環境の確保

#### 避難所での飼養

- 各避難所が定めたルールに従い、飼い主が責任を持って世話をする
- 飼養環境の維持管理には、飼い主同士が助け合い、協力することが必要

#### 自宅で飼養する

- 支援物資や情報は、必要に応じて指定避難所などに取りに行く  
(自宅の安全確認を確実に行う)

#### 車の中で飼養する

- 支援物資や情報は、必要に応じて指定避難所などに取りに行く
- ペットだけを車中に残すときは、車内の温度に常に注意し、十分な飲み水を用意しておく
- 長時間、車を離れる場合には、ペットを安全な飼養場所に移動させる  
(安全の確認とエコノミークラス症候群には十分注意)

#### 知人や施設などに預ける

- 被害がおよぶ可能性が低い遠方の知人に預けることも検討しておく
- 施設に預ける場合は、条件や期間、費用などを確認し、後でトラブルが生じないよう、覚書などを取り交わすようにする